

小中一貫教育とCSのさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.49 R5.4.28 幕別町教育委員会 学校教育推進員

マスク着用が個人判断に委ねられ、いよいよアフターコロナの学校生活が始まりましたが、各学園各学校では混乱なく新年度が開始され一安心しているところです。

昨年度、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの取組が大きく進みました。今年度はさらなる充実が期待されますが、コロナ禍を境に様変わりする日本型教育の創造に、小中一貫教育・CSの推進で挑戦する一年にしたいものです。

今月は、各学園総会の様子を中心にお知らせします。

各学園の総会、一斉に開催！ 4/12 百年記念ホールほか

4月12日(水)、幕別町教育振興会総会終了後、各学園の総会が一斉に開かれました。



まくべつ学園では、今年度の学園経営重点である「今後の「まくべつ学園」のあり方と方向性の構築（第4期2年計画1年次）～教育課程・生徒指導・特別支援・CS・働き方改革のさらなる充実～」に向けて、①今後の小中一貫教育のあり方（義務教育学校）を見据えた取組の充実 ②一貫カリキュラムの充実および小中一貫教育推進による学力の向上 ③小中および保護者・外部機関の連携・協働による不登校児

童生徒の対応と未然防止 ④地域を巻き込んだ教育活動の拡充 ⑤進路を見通した小中の特別支援教育の一層の連携 といった5つの事業推進重点をそれぞれの部会・委員会で分担し、具体的な取組を推進していくことを確認しました。

総会後は、部会・委員会に分かれ、顔合わせとともに事業の分担、当面の事業推進について打ち合わせを行いました。年間の事業計画は5月8日(月)の学園一斉部会で協議する予定です。早速、学習部では乗入授業の取りまとめを行い、4月24日(月)から今年度の乗入授業がスタートします。今年度も、外国語・算数・体育をそれぞれ70時間、音楽を35時間、(計245時間)行う予定です。

糠内学園では、初めに宗形学園長の挨拶があり、その後部会に分かれ今年度の計画について話し合いました。

「つながる力部会」では①学級通信交流、②他地域との交流、③総合学習交流の3つを柱とし活動を進めます。学級通信交流では、時間をかけずにお互いの学校生活の様子を交流できるメリットを生かし、一言コメントによってモチベーションを高めて楽しみながら進めています。他地域との交流では、昨年度の実績を基に今年度は小学生を交えての活動となります。環境の異なる地域の方々との交流を通して、自分たちの故郷の良さを再認識し、発展につながるきっかけになることを願っています。総合学習交流では地域創生をテーマに小中それぞれの活動が連携して行えるよう取り組みます。

「学ぶ力部会」では、①教師がしゃべり過ぎない子ども主体の授業改善、②ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び、③糠内スタンダードの見直しと徹底指導、④研究交流授業の4つの柱で子ども主体の授業改善を進める計画です。



さつない学園では、百年記念ホール大ホールで全体会を行い学園の方向性を確認した後、会場を札内中学校に移して各部会を開催、具体的な活動について話し合いました。

今年度は、乗入授業の拡充のほか生徒指導・特別支援教育の定期的な交流など、さらに充実した活動になるよう計画を組み、そのための打ち合わせを活発に行いました。



札内東学園では、はじめに横山学園長（札内東中学校長）の挨拶があり、小中一貫教育の「質を高めること」をねらいにすること、学校運営協議会での熟議をもとに目指す子ども像のキーワードを「考動」としたこと、コミュニティ・スクール・地域学校協働本部・小中一貫教育の関係についての説明などが話されました。その後、各部長より（学習指導部・生徒指導部・地域学習部）、令和4年度の活動の反省を生かした事業計画が提示され、決定されました。



ちゅうるい学園では、コーディネータが議長を務め、昨年度の事業報告等と今年度の事業計画等がスムーズに決まりました。また、規約改正も行われ、学園長が小中どちらからでも選べるようになりました。

今年度は、年間通じて行う週1回の乗入授業、3回の合同部会、小学校を会場に開催する実践交流会などが計画されています。ちゅうるい学園では、小中一貫教育を推進する教育推進委員会（教職員）とCSを推進する学園CS委員会（地域）を設置し、組織を明確にして小中一貫教育とCSを推進しようとしています。

中学新入生へ向けて 春休み学習教室開催 4/5 まくべつ学園



春休み中の4月5日（水）、幕別中学校で新入生を対象とした「春休み学習教室」が開催されました。この日は学級発表が行われましたが、新入生たちは新たな担任を確認したあと、落ち着いた様子で学習会に参加していました。これまで多くの乗入授業や中学校登校を経験し安心感をもっていたものと思われます。

この学習会では、小学校卒業前に配付した「入学後すぐに行われる学力テストの対策プリント」についての解説や入学後の学習の仕方、家庭学習のポイントなどが中学校の教科担任それぞれから説明されました。

参加した新入生からは、「学力テストの対策を教えてもらってよかった。」「説明がわかりやすくよかった。」「中学校でのテストへの勉強ができてよかった。」という声が聞かれました。



さつない学園でも 春休み学び講座開催 4/5 かかわい部主管

この日は学級編成の発表があり、生徒達はどの学級に所属するのか、担任は誰なのか、ドキドキ・ワクワクする表情で編成発表を見入っていました。その後、10時半から12時まで春休み学び講座が開催され、国語・数学・社会・理科・英語の学力テストの過去問題を中学校教諭が解説しました。新1年生は真剣な表情で学習に参加していました。



春休み学び講座は、4月10日から始まる新学期前に、中学校の校舎や授業の雰囲気、教科担当制に慣れることなどをねらいとして実施しています。さつない学園かかわい部・学び講座担当が主体となって計画を立案し、各小学校と連携しながら準備を進めてきました。この日は52名の生徒が参加しました。中1ギャップの解消につながることを願って、例年実施しています。

お茶懇開催！ 3/28 札内東学園 地域学校協働本部

3月28日(火)、下山地域プロデューサーの呼びかけによる地域学校協働本部のお茶懇が青葉町近隣センターで開催されました。地学協働サポーターであるチロッター（白人小で活動）とキタヨー（札内北小で活動）の代表が集まり、これまでの活動を交流し、良かった点などを確認し合いました。また、Society5.0に関する動画を視聴し、「これからの時代に子ども達にどんな力をつけさせたいか」との意見交流をしましたが、話題は多岐に及び大いに盛り上がりました。地域の方々の学校への思いがたくさん出される有意義な懇談会になりました。



少しずつではありますが、地域との協力体制が強化されつつあります。学園教育目標「ふるさとを愛し、夢や希望の実現に向けて、仲間と共に高め合う子ども」の達成に向け、さらなる連携・協働・分担を図っていくことにしています

今年度の重点 乗入授業の拡充、生徒指導・特別支援教育の交流

今年度、ロードマップでは、第4期「幼小中高一貫教育の構想」に入ることになっていますが、コロナ禍による計画の遅れもあり、これを正面に掲げる状況には至っていません。当面は、昨年度大きく進んだ小中一貫教育とCSの一層の充実に力を入れることになります。

具体的には、①乗入授業の拡充、②学園レベルでの学力分析、生徒指導交流、特別支援教育の交流、③運営協議会での熟議テーマの工夫が挙げられます。

このほか、小中一貫教育課程がまだ完成していない学園については、今年度中の整備が必要です。完備済みの学園では、教職員全員がその教育課程をよく読みこんで、しっかりと活用を図ることが求められます。さらに、地域学校協働活動の体制確立に向けた具体的取組の口火を切っておくことも大事になります。

こうした取組を進めていくことが、第4期の基盤づくりにつながると考え、今年度の具体的な活動を進めていきましょう。コロナ禍の収束が期待される今年度は、小中一貫校としての実力を高める絶好の機会です。「子どもを真ん中に」「すべては子どもたちのために」、共にがんばりましょう。

小中一貫教育・CS 推進連絡会議は、今年度も7月と2月に開催します